

アプリケーションカタログ メッキ液中のスルファミン酸

関連業界	:	非鉄金属
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸化還元滴定
関連規格	:	-

1. 概要

メッキ液中のスルファミン酸 (sulfamic acid) の定量は、試料に濃塩酸と純水を加えた後、これを15°C以下の温度に保ちながら電位差滴定法により0.1mol/L 亜硝酸ナトリウム溶液で当量点まで滴定します。当量点は滴定曲線上の最大変曲点です。亜硝酸ナトリウム溶液の滴定量からスルファミン酸の濃度を算出します。

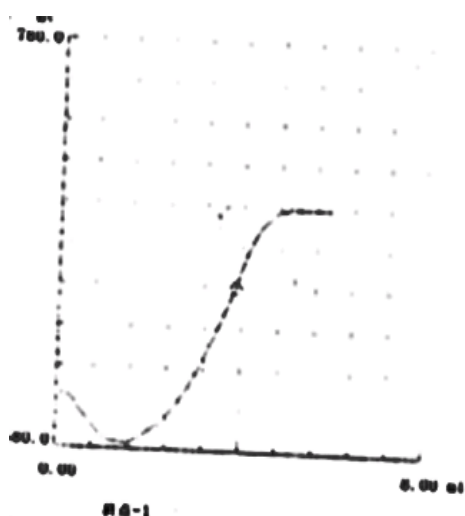
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	白金電極 セラミック型比較電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 亜硝酸ナトリウム溶液 (f=1.006)
溶媒	:	純水, 硫酸溶液 (1+1)
試薬	:	濃塩酸

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Sulfamic acid (g/L)
1	20.0	3.8610	1.8856
2			
平均 偏差 RSD (%)			

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>